

同名異坂の話等

JJ1SXA/池

世の中には、同姓同名は結構多いです、ハムのコールサインは世界に一つですが、同一サフィックスは数多くあります、でも同じサフィックスの局との QSO のチャンスは意外に少ないものです、私は、JH4SXA 局とは、彼が、/1 で出ている頃に知り合い、4 エリアに帰ってからも、通勤時間帯に e スポが発生すると 240 で呼んでくれて結構 QSO しましたが、大分以前からとんと声が聞こえず、彼のローカルであろう局とつながり消息を聞いたら、今は QRT 中とのことで、QSP をお願いしましたが、一寸残念です、彼以外には同じサフィックスの局との QSO はやっていません。

前置きが長くなりましたが本題です、東京の坂の話です、東京には坂は多いのですが、ほとんどの坂に名前がついています、これは、現在のように住居表示の手段が無かった江戸時代、傾斜のある道路のほとんどのに名前がつけられ、主要な目標・指標になっていたとのことです。

坂は坂でも同名の坂の話です、なかでも多い名前(10 箇所以上)を列挙します、「富士見坂」(18)、「新坂」(17)、「暗闇坂」(14)、「幽霊坂」(13)、「稲荷坂」(12)、「地蔵坂」(10)、()内の数字を見れば、矢張り「富士見坂」が 18 と多いのは、昔は、方々から富士山が見えたのです、高層建築が発展した現在は、この内の何箇所で見えるのでしょうか？その後続く「新坂」は、江戸の開発が進んだ結果かと思えます、また、「暗闇坂」、「幽霊坂」は、そういう雰囲気のある場所だったのでしょうか、「稲荷坂」、「地蔵坂」は、容易に想像のつく命名です。

これだけ多くの同名異坂があると、タクシーの運転手さんは大変です、「〇〇坂」などお客様からの指示には、きちっと確かめないと、トラブルの原因になります。

俗に、大江戸八百八町と言われているが、18 世紀中葉には、1600～1700 ほどの町があったようですから、坂の名前だけでは、混乱もあったのではないかと思います、現代ほど行動範囲が広く無かったので大丈夫だったのでしょうか？

ちなみに、地下鉄銀座線・丸の内線の「茗荷谷」、「四ツ谷」、「渋谷」の各駅付近は地下鉄なのに地表を走っているが、山の手の台地を掘って造った地下鉄であるため、地表に出ていて「坂」の底辺である「谷」の名前がついている。

さて、坂の話から離れて、240 グループの多くの局が住む三多摩についてです、多摩川と秋川の合流地点(昭島市拝島町5丁目付近)から、西が西多摩、その東側は、多摩川の南が南多摩、北が北多摩というのが大まかな分け方で、その総称が三多摩ですが、現在の市制では、西多摩郡が残るのみ、北多摩群は 1970 年 11 月 2 日に、南多摩群は 1971 年 10 月 31 日に消滅しました、一寸寂しい話か、結構な話か？